

## 言語バリアフリー関係府省連絡会議（第1回） 議事要旨

### 1 日時

平成30年4月11日（水） 16:00～17:20

### 2 場所

総務省11階 第3特別会議室

### 3 出席者

#### (1) 構成員等

内閣官房 情報通信技術（IT）総合戦略室 玉田次長、内閣官房 健康・医療戦略室 遠藤代理、内閣官房 東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会推進本部事務局 御手洗代理、内閣府 大臣官房 黒田審議官（科学技術・イノベーション担当）、警察庁 長官官房 中谷代理、消防庁 国民保護・防災部 杉本部長、法務省 大臣官房 森田代理、法務省 大臣官房 本針代理、財務省 大臣官房 岸本審議官（関税担当）、文部科学省 大臣官房 藤野総括審議官、厚生労働省 大臣官房 椎葉審議官（医政、精神保健医療、災害対策担当）、厚生労働省 大臣官房 谷内審議官（老健担当）、農林水産省 農林水産技術会議事務局 大角研究総務官、経済産業省 大臣官房 小瀬審議官（商務・サービス担当）、特許庁 特許情報室 山本室長、国土交通省 総合政策局 一見次長、観光庁 観光地域振興部 米村部長、環境省 大臣官房 米谷政策立案総括審議官

#### (2) オブザーバ

国立研究開発法人情報通信研究機構（NICT） ユニバーサルコミュニケーション研究所 木俣研究所長

#### (3) 総務省（事務局）

坂井総務副大臣、今林国際戦略局長、布施田技術政策課長、田沼研究推進室長他

### 4 議事要旨

#### (1) 開会

#### (2) 坂井総務副大臣ご挨拶

坂井副大臣より、訪日外国人旅行者数の増加により観光分野のみならず、幅広い分野での多言語音声翻訳技術の重要性がますます高まっており、各府省で感じている言葉に関する課題やその対策を共有し、「言葉の壁」を

越えた自由な交流ができる社会の実現に進めていけるよう、闊達な意見交換を本会議で行っていきたい旨ご挨拶があった。

(3) 議事

ア 総務省の多言語音声翻訳技術への取組状況

事務局より【参考資料 1-1】、【資料 1-1】に基づき、会議の目的・会議運営のルール及び多言語音声翻訳技術への取組状況について説明があった。

イ 多言語音声翻訳技術活用府省の先進的取組紹介

消防庁、特許庁、観光庁より【資料 1-2】～【資料 1-4】に基づき多言語音声翻訳技術の活用事例の紹介があった。

ウ 今後の府省連携に向けて

構成員より、各府省における多言語対応の現状・課題の説明や府省連携の可能性を期待する発言があった。

(4) 事務連絡

事務局より、次回会合の予定について説明があった。

(5) 閉会

坂井副大臣より、各府省のご発言を受けて、さまざまな分野で同技術の活用ができるものと考えており、今後の府省間の一層の連携強化に期待する旨の発言があった。

以上